

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	23221011	研究期間	平成23年度～平成26年度
研究課題名	RNAとタンパク質の相互作用を用いたヒト細胞運命制御システムの構築	研究代表者 (所属・職)	井上 丹 (京都大学・生命科学研究科・教授)

【平成25年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
	A+ 当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A 当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A- 当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B 当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C 当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
<p>(意見等)</p> <p>研究代表者のグループは shRNA と RNP 相互作用モチーフを利用して、タンパク質応答型 shRNA スイッチを構築することに成功している。また、天然型の RNP を改変した機能性モジュールの作成も達成している。これらの研究成果は、当初の目標に向けて順調に研究が進展している証であり、今後の発展が期待できる。特に、残された研究期間内で、ヒトのがん細胞内で発現するがん細胞に特有のマーカータンパク質を検出できる RNA スイッチ開発への更なる研究の拡張が見込まれる。</p>	